

ひと
女ひと
男

男女が共に生きるメッセージ



パートナーシップ

問合せ先 企画課男女共同参画推進係 ☎72-2111内線222

男性と女性、それぞれの視点で考える防災



- ・人目を気にせず着替えられる場所がない
- ・女性用物資が足りない
- ・力仕事は男性、炊き出しは女性などと、避難所での役割が固定されている
- ・異性の相談員には、悩みや心配事を話しにくい



これらは東日本大震災の発生後、避難所運営の中で出てきた課題です。災害時には、平常時における社会の課題がより一層顕著になって現れます。そのため、防災を円滑に進めていくためには、平常時から男女共同参画社会を実現し、男女の声を取り入れた地域の防災体制を確立する必要があります。日ごろから地域に関わるとともに、男女それぞれの視点から災害時の対応について一緒に考えましょう。

男女の意見を生かした、防災の地域づくりのために

—地域活動や政策・方針の決定の場へ、男女がともに参画しましょう—

協働のまちづくり組織に参加する

各小学校区ごとに進めている協働のまちづくり組織では、新しい地域コミュニティの在り方について話し合っています。その中でも防災は、とても重要な課題のひとつです。協働のまちづくり組織に男女がともに参加して、それぞれの意見を取り入れながら災害に備えた地域づくりに取り組むことが大切です。

自主防災組織に参加する

それぞれの地域では、自主防災組織の取組みが進められています。自主防災組織とは、「自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方にに基づき防災活動に取り組むための組織です。自主防災組織の活動や設立に向けた取組みに参加し、男女それぞれの視点を生かした地域の防災体制を作っていきます。

講習会や訓練に参加する

市では、地域の自主防災活動で自主的・主体的に活動する「防災リーダー」を育成するため、小都市防災リーダー認定講習会を開催しています。他にも、各地域で避難訓練や防災研修会が開催されています。迅速で的確な災害対応力や正確な防災知識を身につけて、地域の防災体制に生かしましょう。

家庭でもできる取組みがあります

女性や乳児のいる家庭で用意しておきたい避難用品

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 生理用品 | ☐ ミルク、哺乳瓶、離乳食 |
| ☐ 携帯用ビデ | ☐ おしりふき、紙おむつ |
| ☐ 女性用下着 | ☐ 授乳用ポンチョ |
| ☐ 中身の见えないごみ袋 | ☐ 抱っこ紐 |
| ☐ 母子健康手帳 | |

